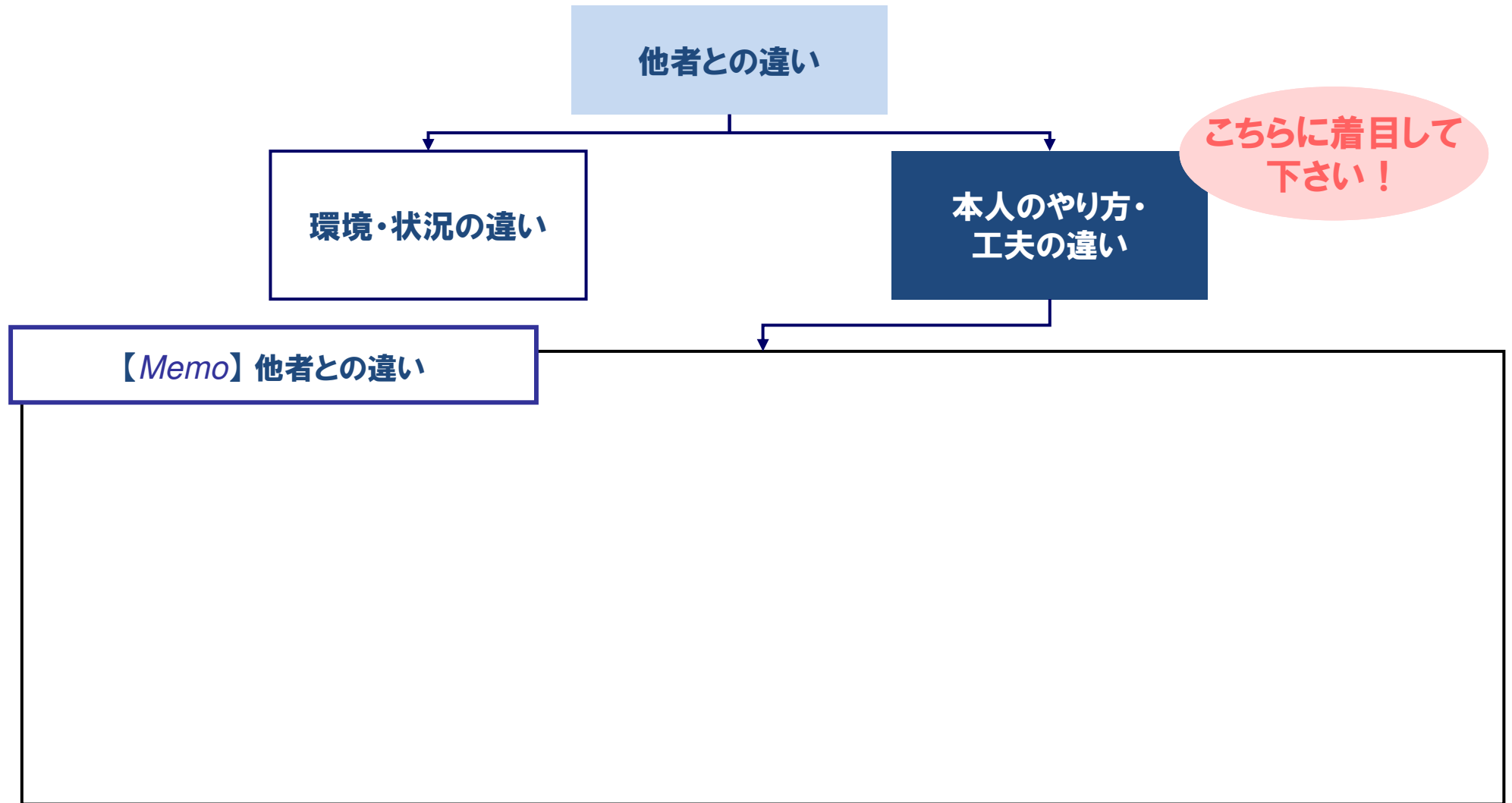




**【Discussion & Discovery】** なぜ自身はその業務に時間がかかっているのか？

- グループ内で、自身と同一もしくは類似業務を行っているのに要している時間が短い参加者を探し、「なぜ、自身より短く出来ているのか？」を明らかにして下さい。



## **【Discussion】** “本来やるべき業務（管理者に期待されている役割）”とは？

---

**【進め方】**（所要時間:30分）

- ① 「管理者に期待される役割」について、ご自身の日常業務を振り返ってください。
- ② マインドマップを用いて、課題についてイメージしたままに書き出してみてください（キーワードや感情、文書の体裁や形式は気にせず自由に書いてください）。
- ③ 特に重要だと思うところには、あとで見直した時にわかるよう、マークなどして目立つようにしておいてください。

## 【Work】 自身の“更に本来やるべき業務”と想定所要時間

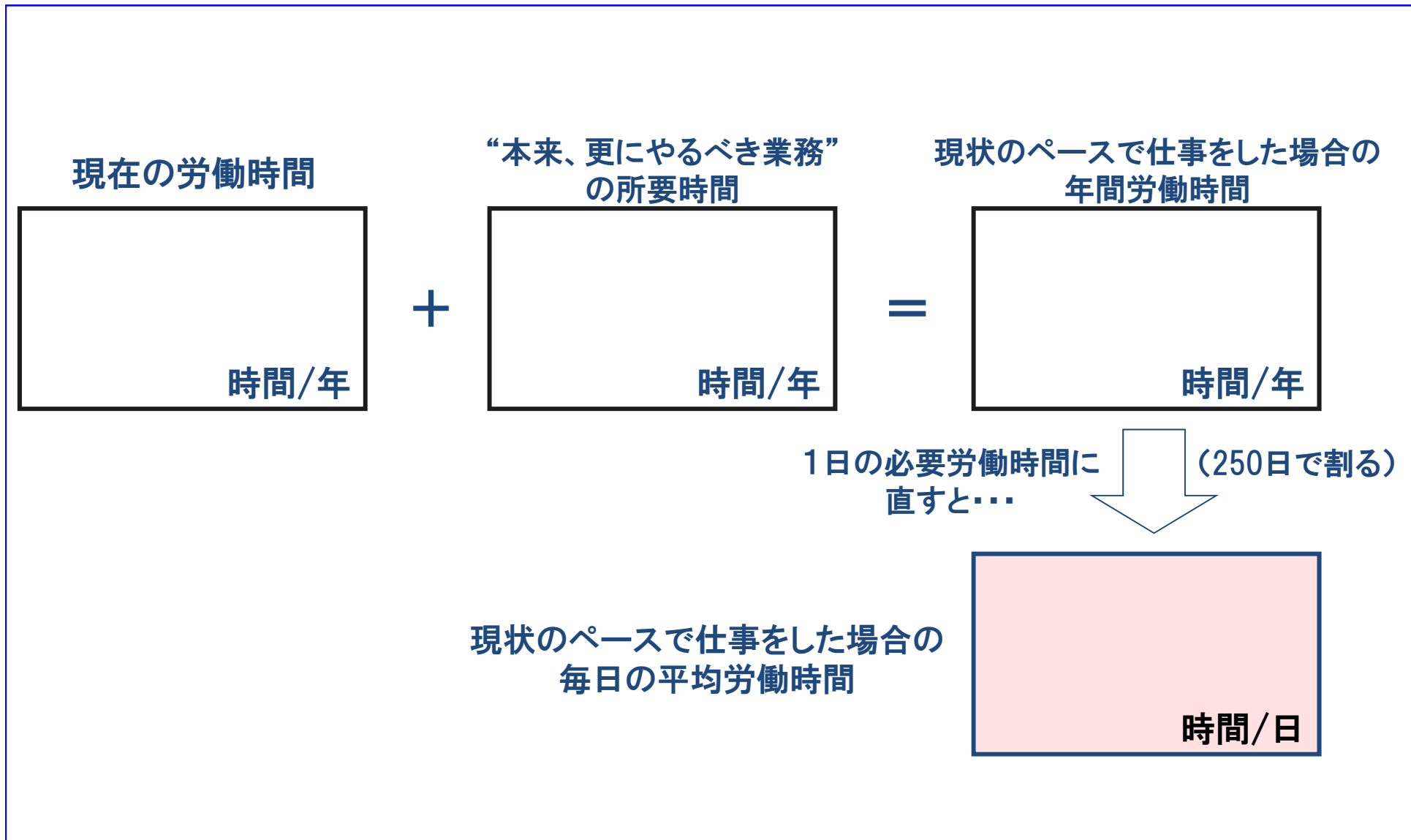
【進め方】（所要時間:20分）

- ① グループ討議の結果(=管理者に期待される役割)の中で、自身にとって“本来、更にやるべき業務”を抽出してください。
- ② 上記抽出して各業務の所要時間をおおよそでかまわないので想定して下さい。

	本来、更にやるべき業務	想定所要時間(年間)
①		時間/年
②		時間/年
③		時間/年
④		時間/年
⑤		時間/年
⑥		時間/年

## ②時間削減目標を意識して日々働く習慣を付ける

### 現状ベースで必要な労働時間



## 【Work】 自身とチームの労働時間増大の要因（仮説）

### 【進め方】

●自身とチームについて、労働時間が増大している要因を5つずつ挙げて下さい。仮説でかまいません。

●職場にてメンバーとの対話等を通じて、「自身」と「チーム」の労働時間増大の要因について整理してきて下さい。

労働時間増大の考えられる要因	
「自身」に関する要因	「チーム」に関する要因
①	
②	
③	
④	
⑤	

## 【Work】 自チームに必要な「働き方」を考える ～(1)組織目標・業績目標から

### 【進め方】

- 最初に、自チームの組織目標・業績目標をあげ、それぞれ達成に向けての課題もあげて下さい。
- その課題について、メンバーの「働き方」を変えることで解決に貢献できることがあれば、その「働き方」を記して下さい。  
(LECSマップも参考にして下さい)

自チームに必要な「働き方」(1)		
自チームの組織目標・業績目標	目標達成のための課題	課題解消につながる「働き方」
①		
②		
③		
④		
⑤		

## 【Work】 自チームに必要な「働き方」を考える ～(2)メンバーの状況から

### 【進め方】

- 次に、自チームのメンバーの中で、働き方に考慮すべきメンバーがいれば、その状況を記して下さい。
- その状況について、軽減できる「働き方」があれば、その「働き方」を記して下さい。





自チームに必要な「働き方」(2)	
考慮すべきメンバーの状況	状況軽減につながる「働き方」
① (例)遠地の事務所で勤務しているメンバーがいる	(例)TV会議システムを利用したチーム会議の実施
②	
③	
④	
⑤	



## 【Work】 目指す「働き方」の実現方法を考える

### 【進め方】

- 先ほど検討した「目指す「働き方」(課題解決/状況改善につながる働き方)を最大5つ記載してください。
- 目指す「働き方」それぞれについて、実現方法のアイデアを検討し記載してください。

目指す「働き方」の実現方法	
目指す「働き方」(先ほど検討した内容を転記)	実現方法アイデア
①	
②	
③	
④	
⑤	